

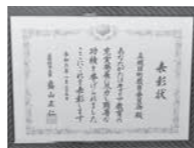
1月25日 町教育委員会が文部科学大臣から表彰

1月25日、令和5年度キャリア教育推進連携シンポジウムが開催され、その中で行われた「第16回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰式」において、町教育委員会が表彰されました。

町教育委員会では、地域に根ざしたキャリア教育の充実と自己実現に向けた教育を推進しており、職場体験や自然・文化体験活動を行う「夏休み子ども体験塾」やグループ学習を通じ、町の地域課題の解決策や将来のまちづくりなどについて考える「子ども議会」などの取り組みが評価されました。



評価されたキャリア教育に関する取り組みの1つである「子ども議会」の様子。



1月31日 町消防団が国土交通大臣から表彰

1月31日、町消防団が、昨年7月の大雨災害発生時の活動を評価され、水防功労者国土交通大臣表彰を受賞しました。

町消防団は昨年7月の大雨災害に際し、7月15日から16日にかけて延べ72名が出動。河川などの警戒巡視、積み土のう工の実施、住民の避難誘導等の水防活動を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をされました。



町消防団を代表して、千葉興右工門団長が表彰式へ参加（中段、右から2番目）

2月13日 昨年7月の大雨災害にかかるワークショップを実施

2月13日から22日にわたり、昨年7月に発生した大雨災害の検証に関するワークショップを町内各地区で全8回実施しました。当日は、はじめに、町住民生活課が災害の概要説明を行い、その後、参加者が各グループに分かれてワークショップに取り組みました。

ワークショップの前半は「災害の様相分析」として、災害発生時における時系列ごとの被害状況を分析。後半では「命を守るための行動」として、ある大雨被害発生を想定し、家族や近所の人々をどう助けるかについてグループごとに話し合い発表を行いました。参加者は、過去の災害発生時の行動の振り返りや今後の課題について互いに情報を共有し、防災への意識を高めました。

ワークショップにおいて寄せられたご意見や情報などは、地域防災計画の見直しやマニュアル整備、内水浸水想定区域図の作成など、今後の防災対策に生かしていきます。



2月19日に内川地区公民館で行われたワークショップの様子。

町価格高騰重点支援特別給付金の申請期限は3月15日(金)まで

▶ 給付額

- ①住民税非課税世帯
1世帯あたり 7万円
- ②住民税均等割のみ課税世帯
1世帯あたり 10万円
- ③上記①、②の世帯のうち18歳以下の子ども1人あたり 5万円

▶ 対象世帯

令和5年12月1日現在で五城目町住民基本台帳に記録されている世帯のうち、

- ①世帯員全員が令和5年度の住民税が非課税の世帯
※住民税が課税されている者の扶養親族等のみで構成される世帯は対象外
- ②世帯員全員が令和5年度の住民税の所得割が課されていない者のみの世帯（①を除く）
※住民税均等割が課税されている者の扶養親族等のみで構成される世帯は対象外

- ③左記①、②の世帯のうち18歳以下の子どもがいる世帯
- ▶ 申請方法
対象世帯には書類を送付していますので、内容を確認し、必要事項の記入及び関係資料を添付のうえ町総務課へ申請してください。
- ▶ 申請期限 3月15日(金)
- ▶ 問合せ先
町総務課 ☎852・5332

2月10日、朝市通りで冬の朝市「あったか鍋まつり」を開催しました。当日は、だまこ鍋やだまこそば、タラ鍋やきゃのこ汁といった五城目の冬の味覚に、多くの来場者が舌鼓を打ちました。

また、福祿寿酒造での酒蔵開放やフィンランド発祥のスポーツであるモルック体験会、餅つき体験コーナーなども催され、会場は大いに盛り上がりしました。



1だまこそばや、2タラ鍋、4きゃのこ汁などの冬の味覚が並ぶ！5モルック*体験会の様子。6福祿寿酒造の日本酒を買い求め、多くの人が通りに並びました。7子どもたちみんなでもちつき体験！8多くの人で賑わう朝市通りの様子。
※モルック：フィンランドのカレリア地方に伝わるゲームを元に開発されたスポーツ。「モルック」と呼ばれる棒を投げ「スキトル」と呼ばれるピンを倒し、得点を競う。

楽しみいっぱい
五城目朝市

冬の朝市「あったか鍋まつり」